

# 島根県の地震

令和6（2024）年2月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

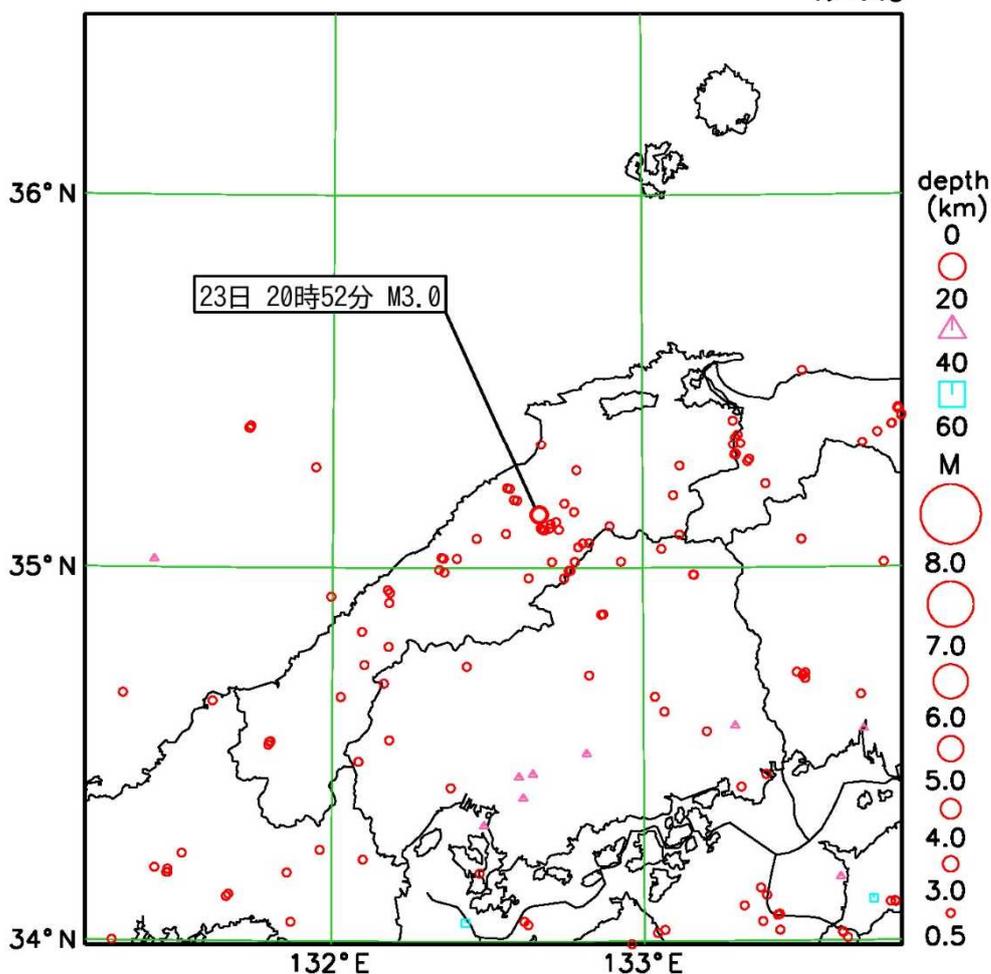
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

## 島根県およびその周辺地域の地震活動 2024年2月1日～29日

2024 02 01 00:00 -- 2024 02 29 24:00

N=145



### [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は145回（1月は177回）でした。

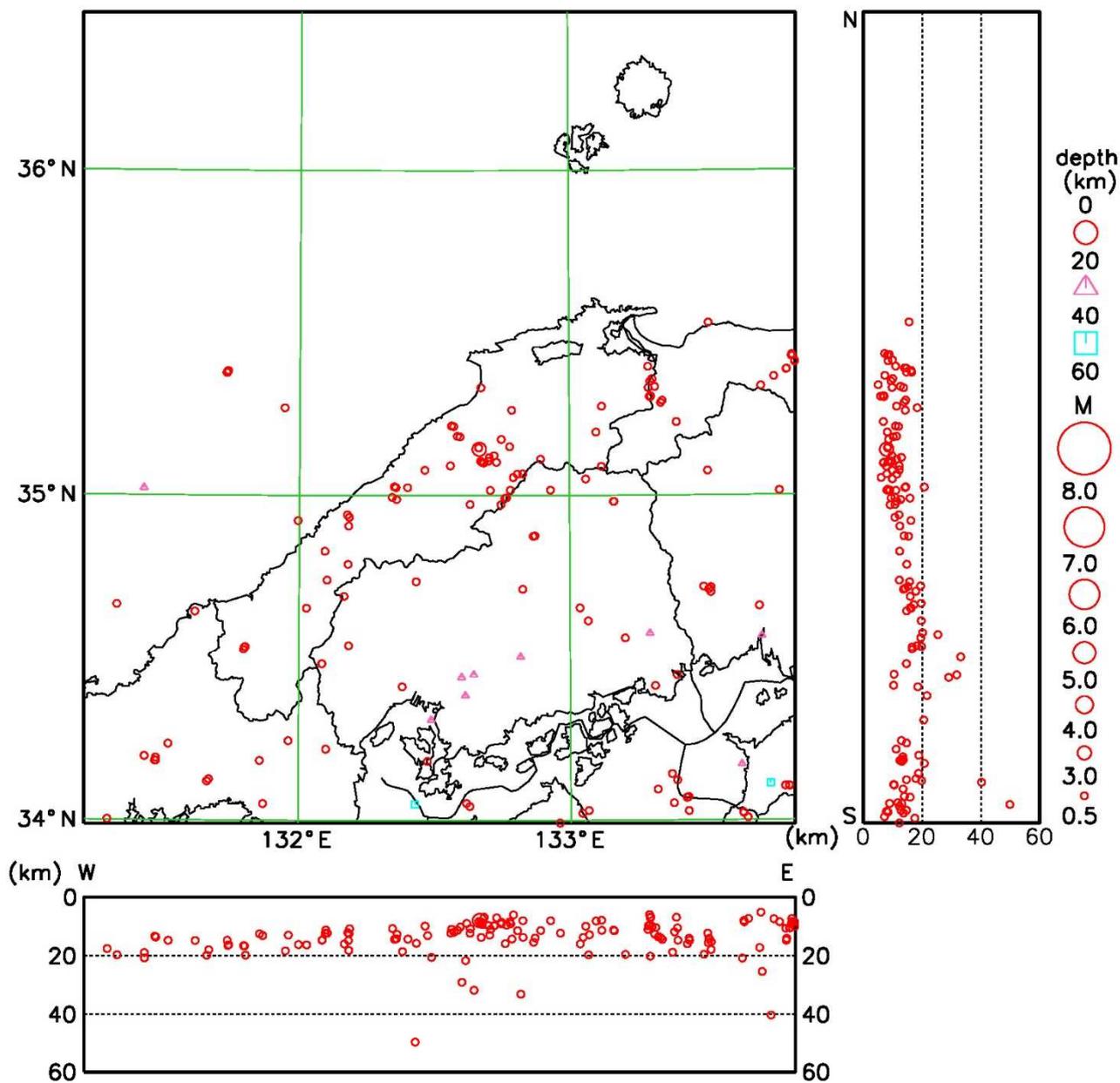
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、2回でした。

23日20時52分 島根県東部の地震（深さ8km、M3.0）により、雲南市・美郷町で震度1を観測しました。

26日15時24分 伊予灘の地震（深さ47km、M5.1：地図範囲外）により、浜田市・益田市・川本町・邑南町で震度2を観測したほか、松江市・出雲市・安来市・雲南市・大田市・江津市・飯南町・奥出雲町・津和野町・美郷町・吉賀町で震度1を観測しました。また、広島県呉市・府中町、愛媛県今治市・西条市・松山市・伊予市・松前町・伊方町で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。この地震はフィリピン海プレートの内部で発生しました。

[断面图]

2024 02 01 00:00 -- 2024 02 29 24:00



## 2月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2024年02月23日20時52分	島根県東部	35° 08.5' N	132° 39.9' E	8km	M3.0
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 1：雲南市掛合町掛合*，島根美郷町粕淵*				
----- 地点震度 -----					
2024年02月26日15時24分	伊予灘	33° 38.5' N	132° 28.2' E	47km	M5.1
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 2：浜田市殿町*，益田市常盤町*，益田市美都町都茂*，川本町川本*，邑南町淀原* 邑南町下口羽*，邑南町瑞穂支所*				
	震度 1：松江市西津田，松江市学園南*，松江市鹿島町佐陀本郷*，松江市玉湯町湯町* 松江市東出雲町揖屋*，松江市八雲町西岩坂*，出雲市今市町，出雲市湖陵町二部* 出雲市斐川町上庄原*，出雲市平田町*，出雲市大社町杵築南* 安来市伯太町東母里*，安来市安来町*，雲南市大東町大東，雲南市掛合町掛合* 雲南市三刀屋町三刀屋*，雲南市加茂町加茂中*，雲南市木次町里方*，飯南町頓原* 奥出雲町横田*，奥出雲町三成*，浜田市大辻町，浜田市野原町* 浜田市金城町下来原*，浜田市三隅町三隅*，浜田市旭町今市* 浜田市弥栄町長安本郷*，益田市匹見町石谷，益田市水分町*，益田市匹見町匹見* 大田市仁摩町仁万*，大田市温泉津町小浜*，大田市大田町*，江津市江津町* 江津市桜江町川戸*，津和野町後田*，津和野町枕瀬*，島根美郷町君谷 島根美郷町粕淵*，島根美郷町都賀本郷*，邑南町矢上*，吉賀町六日市* 吉賀町柿木村柿木*				

・地点名の後に\*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

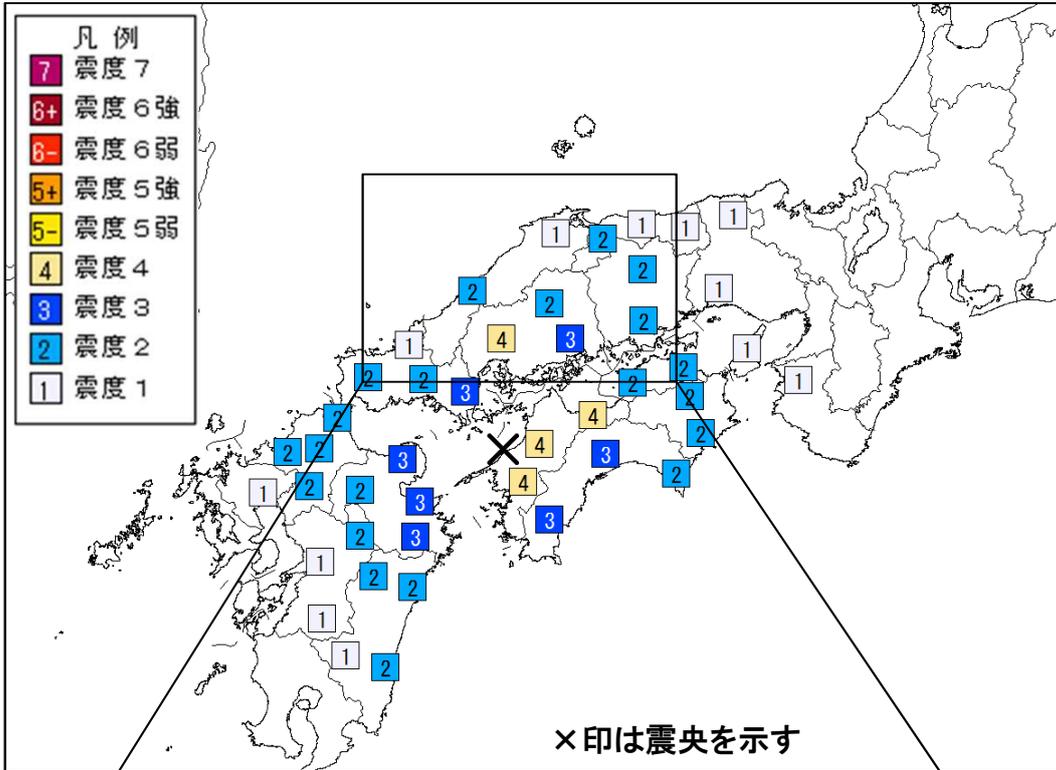
# 【観測点震度分布図】

2024年2月23日20時52分 島根県東部



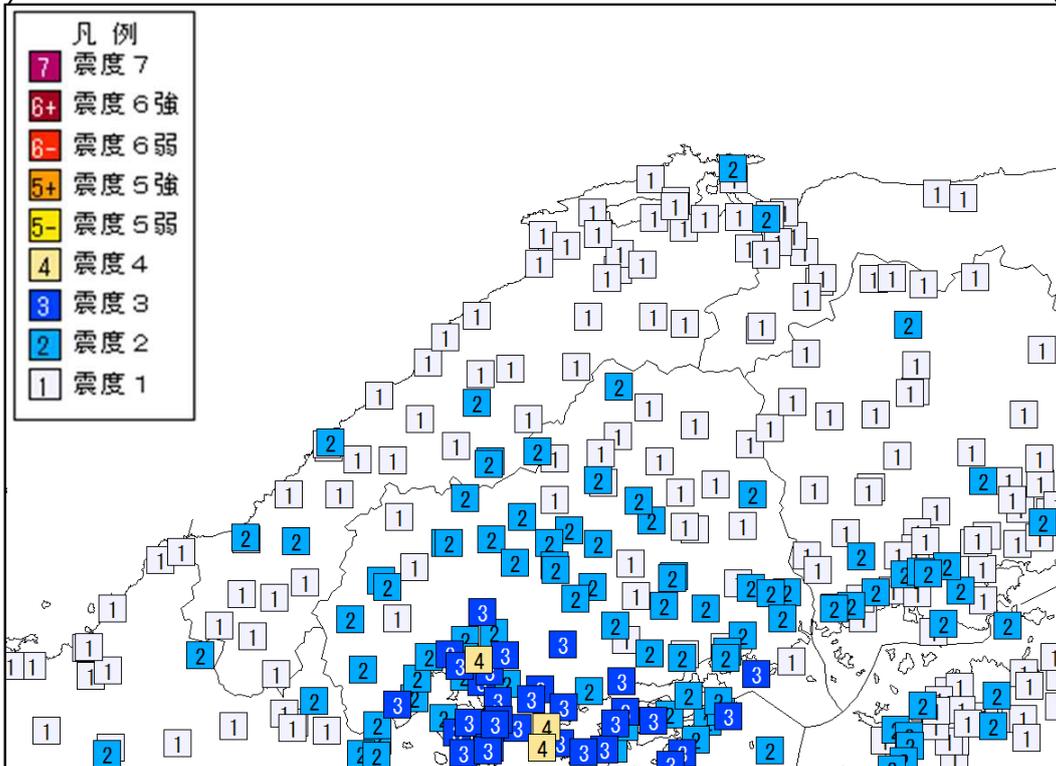
# 【地域震度分布図】

2024年2月26日15時24分 伊予灘



# 【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



## 地震一口メモ

### 8月26日は「火山防災の日」

#### 火山対策への関心と理解を深めるため「火山防災の日」が制定されました

近年、富士山の市街地近くで新たな火口が発見されたこと等による想定される火口の範囲の拡大や、桜島で大規模噴火の可能性が指摘されたことなど、日本全国で火山活動が活発化した際の備えが急務となっています。このような状況に鑑み、噴火災害が発生する前の予防的な観点から、活動火山対策の更なる強化や、住民、登山者等の安全を確保するため、令和5年6月に活動火山対策特別措置法（以下、活火山法という）が改正され、令和6年4月1日から施行されます。

#### ◆ 火山防災の日

活火山法では新たに8月26日を「火山防災の日」と制定しました。国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、国と地方公共団体は防災訓練や行事の実施に努めることとなります。

8月26日は、明治44年に浅間山で日本初の火山観測所が設置され、観測が始まった日です。



浅間火山観測所（長野県）

観測所についての詳細はこちらから  
[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/rovdm/Asamaya\\_ma\\_rovdm/watching\\_vol.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/rovdm/Asamaya_ma_rovdm/watching_vol.html)

#### ◆ 火山調査研究推進本部の設置

活火山法では、文部科学省に火山調査研究推進本部が新たに設置され、火山に関する観測・測量・調査研究が一元的に推進されます。地震分野における地震調査研究推進本部と同様に、国が総合的に火山防災を司ることになりました。

#### ◆ 気象庁における火山監視

日本には111の活火山があり、気象庁ではこれらの火山活動を監視しています。活火山のうち「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」として50の火山を選定し24時間体制で常時観測・監視しています。

中国地方にある島根県の三瓶山、山口県の阿武火山群はそれらの火山に含まれていませんが、周辺の地震計による地震観測を通して活動を監視し、居住地域や火口周辺に危険を及ぼすような噴火の発生が予想された場合には「警戒が必要な範囲」を明示して噴火警報を発表します。

登山や活火山の付近を旅行される際は、噴火警報等の確認をお勧めします。全国の噴火警報は、気象庁ホームページからご確認いただけます。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.5/137/&contents=volcano>



三瓶山（島根県）